

報道資料

平成30年10月4日

1 件名	「メディアアートの墓」を舞台に音響パフォーマンス 梅田哲也パフォーマンス『メディアアートの亡霊』
2 日時	2018年10月13日(土) 18:30開演
3 場所	山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ
4 内容	<p>山口情報芸術センター [YCAM] は、現在開催中の展覧会「メディアアートの輪廻転生」の関連イベントとして同会場において、アーティスト・梅田哲也によるパフォーマンス作品を発表します。梅田哲也は、展示会場となる空間でしか成立し得ないようなパフォーマンスを、国内外の展覧会や音楽・舞台芸術のフェスティバル等で発表してきました。本展会場に建つ「メディアアートの墓」を舞台にした『メディアアートの亡霊』は、うたと伝承をテーマにした音響パフォーマンスです。本作では、一度墓に葬られた作品たちを15分間だけ現世に召喚することによって、よみがえりの儀式を行います。是非この機会にご参加ください。</p> <p>開催概要</p> <p>梅田哲也パフォーマンス</p> <p>「メディアアートの亡霊」</p> <p>日時：10月13日(土) 18:30開演 会場：YCAMホワイエ 参加無料/申込不要</p> <p>エキソニモ+YCAM合同企画展 「メディアアートの輪廻転生」 2018年7月21日(土)～10月28日(日) 10:00～18:00 山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ 火曜日休館/入場無料</p>  <p>舞台となる「メディアアートの墓」</p> <p>■梅田哲也 (うめだ・てつや) 日用品や廃材といった身近なものを素材としたインスタレーション、都市空間や自然のなかでのサイトスペシフィックな作品を手掛ける。近年の展覧会に「歴史する! Doing history!」(福岡市美術館、2016年)、「札幌国際芸術祭2017」、「東海岸大地芸術節」(台東、2018年)、個展では「SCIENCE DE LA SUPERSTITION」(Instants Chavires、モントルイユ、2015年)、「See, Look at Observed what Watching is」(Portland Institute for Contemporary Art、ポートランド、2016年)など。劇場の機能にフォーカスした舞台作品や、中心点をもたない合唱のプロジェクトなど現地の人を巻き込んだパフォーマンス作品を手がけ、「Kunstenfestivaldesarts」(ブリュッセル、2017年)、「LIVEWORKS」(シドニー、2017年)、「Tectonics2018-2019」(グラスゴー/スタヴァンガー/アテネ)など、パフォーミング・アーツや音楽のフェスティバルにおいても作品を発表。</p>  <p>是非この機会にご取材、ご掲載いただけますようお願いいたします。</p> <p>撮影：Bea Borgers</p>
5 問い合わせ	山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 (担当：青柳・岡崎・橋本) TEL:083-901-2222 /FAX:083-901-2216 メールアドレス： press@ycam.jp